

安心・安全に働ける環境整備と「底上げ」「底支え」「格差是正」を実現しよう!



連合北海道は12月24日に第78回地方委員会を書面開催し2021春闘方針を決定しました。同方針では2021春闘を「総合生活改善闘争」と位置づけ、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争とし、日本の抱える構造課題とコロナ禍によつて明らかとなった社会の脆弱さを克服していくために、「誰もが安心・安全に働くことのできる環境整備と分配構造の転換につながり得る賃上げに取り組み、『感染症対策と経済の自律的成長』の両立と『社会の持続性』の実現」をめざすとした。

連合はこれまでの間、長期にわたるデフレ経済によつて広がった様々な格差を是正し、持続可能な社会・経済の実現に向けた取り組みを進めてきました。「大手追従・大手準拠など

の構造を転換する運動」が一定程度浸透するなど成果を上げてきたが、コロナ禍は、観光・飲食・鉄道・航空など特定の産業に依然として大きな影響を与えている。一方で、社会機能を支えている医療・介護・インフラに関わる構築・保守、食料品など生活必需品の製造、小売り・物流などいわゆるエッセンシャルワーカー等の処遇は、必ずしも、その「働きの価値に見合った水準」となっていない現状なども明らかになっている。したがって、2021春闘においても、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みを堅持する中で、引き続き、月例賃金の絶対額の引き上げにこだわり、「賃金水準の追求」に取り組みこととしました。

連合石狩地協・札幌地区連合はこの方針をふまえ、1月27日に2021石狩地域春闘討論集会を開催し春闘方針を提案します。

さっぽろ政策要求 2021 1次回答が提示!

札幌地区連合が、昨年10月、札幌市へ提出した「2021年度札幌市予算編成へ向けた政策要求」に対して、1次回答書の提示を受けました。

現在、執行部において1次回答内容の検討を進めながら、引き続き3月を目途とした最終回答へ取り組みを進めます。

ワークルールの基礎知識を学び、健全な労使関係を構築、職場環境の改善を!

さっぽろ労働相談センターに寄せられた相談内容を集計・分析したところ、昨年は総体的に一人当たりの相談件数が対前年を上回り、相談者が抱える相談項目の多重化傾向が強まっています。業種別相談状況では、「卸・小売・飲食業」「その他サービス業」「社会福祉・介護業」に相談が集中しています。さらに新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「宿泊・娯楽業」からの相談も急増しました。また、違法率も高い数値で推移しており、雇用形態別違反状況では、パート・派遣社員・契約社員・アルバイトと短期反復雇用および若年と高齢労働者に対するさまざまな労務管理が散見されました。

「社会福祉・介護業」では、コロナ禍の人手不足と過重な労働実態に無策という状況が顕著であり、この業種の相談者は雇用形態にかかわらず、多くが次の就業対象に「社会福祉・介護業」を選択しないと明言しています。

労働相談が多く寄せられている、「労働契約関係（就業規則・雇用契約）」では、事業主が一方的に不利益変更を強行する状況が続いており、対象となった職場に適正な労務管理は存在せず、さまざまな労務管理・事業運営が横行しています。

ワークルールの基礎知識を学び、健全な労使関係に基づき、早急な労働条件と職場環境の改善が求められています。

創意工夫で仲間とつながり、支え合う運動を!

青年委員会総会報告
札幌地区連合青年委員会は、第26回定期総会を「書面議決」にて実施し、活動経過報告、運動方針（案）、役員選出（案）の各議案について「賛成」多数により「可決」しました。

総会議案では、これからも次代を担う青年が一丸となつて課題に取り組み決意を確認しました。

コロナ禍という厳しい中でも、仲間とのつながりを大切に運動を進めます。

ダメ×新型コロナ

「差別・偏見、誹謗中傷」

「北海道スタイル」に昨年10月新たに、正しく理解し、思いやりのある行動をとる、人権配慮についての項目が追加されています。政策要求でも、プライバシー保護と差別・偏見を起ささない取り組みや、医療・介護、保育・学童、運輸・運動業などの従事者への誹謗中傷を起ささない取

組みを求めています。私たちの生活を支えてくださっている方々が、言われのない偏見や差別、心ない誹謗中傷やいじめなどで苦しんでいませんか。このような心ない行為は、決してあってはならず、許されるものではありません。

札幌市も区役所やチカ・ホなどのモニターやラジオ番組などで差別・偏見防止のメッセージが発信されていますが、「差別、誹謗中傷絶対ダメ」との全市的な取り組みが一層求められます。

「社会福祉・介護業」では、コロナ禍の人手不足と過重な労働実態に無策という状況が顕著であり、この業種の相談者は雇用形態にかかわらず、多くが次の就業対象に「社会福祉・介護業」を選択しないと明言しています。

【相談状況の概要】

| 相談者数 | 相談件数 |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 2018年 847人 (+74人) | 1,253件 (+55件) |
| 2019年 923人 (+76人) | 1,366件 (+113件) |
| 2020年 993人 (+70人) (内コロナ関係) 215人 | 1,452件 (+86件) (内コロナ関係) 301件 |

女性委員会総会報告

札幌地区連合女性委員会は、第28回定期総会を「書面議決」にて実施し、活動経過報告、運動方針（案）、役員選出（案）の各議案について「賛成」多数により「可決」しました。

未来を変えるためには、粘り強く運動を積み重ねる必要があります。日々の暮らしの中にある問題に気づき、声を上げ、行動することが重要です。仲間との連携強化と、支え合いの運動をめざします。

連合北海道札幌地区連合会ホームページ

HPがリニューアル! スマホ対応になりました。

QRコードで速報をチェック!

<http://hokkaido.jtuc-rengo.jp/spk-chiku/>

札幌れんご

札幌市中央区北4条西12丁目ほくろビル2階
編集発行人 野宮 佳則 ☎210-0505

2021年 1月 5日 426号
連合北海道札幌地区連合会